

[標準様式例6-2]

(第2回、最終) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年5月29日
契約業者名	日清建設（株）
契約業者の住所	埼玉県さいたま市浦和区本太一丁目9番5号
工事の名称	R 6 国道4号東埼玉道路大落古利根川護岸設置工事（第2回変更）
工事場所	埼玉県北葛飾郡松伏町下赤岩地先
工事種別	一般土木工事
工事概要 (変更した内容について記述する)	構造物撤去工 一式 仮設工 一式 共通仮設費 一式 工期 一式
工期（自）	令和6年8月1日
工期（至）	令和7年6月13日
契約前の変更金額	¥144,870,000
変更金額	増 ¥15,620,000
変更後の契約金額	¥160,490,000
変更理由	<p>1. 構造物撤去工 現地調査の結果、現地条件が変わっていたため、構造物取壊し工、運搬処理工を減工する。</p> <p>2. 仮設工 数量精査の結果、工事用道路工、土留・仮締切工を増工する。 現地調査の結果、護岸の低水部の施工時に湧水が確認され、それにより法面等が崩壊する恐れがあるため、水替工を追加する。 現地調査の結果、仮置き場と工事用道路入口に交通誘導警備員を配置する必要が生じたため、交通管理工を増工する。</p> <p>3. 共通仮設費 監督職員との協議の結果、仮置き場に搬出する土砂の土質等試験、地質調査を実施する必要が生じたため、技術管理費を増工する。 監督職員との協議の結果、営繕費として快適トイレを追加する。</p> <p>4. 仮設工 現地調査の結果、機械足場、資材置場ヤード確保のため、仮設盛土工を増工する。 現地確認の結果、土のう状態にて、運搬の必要が生じたため、土のう運搬を増工する。 試掘調査の結果、湧水が確認され、小口止めコンクリートの施工が出来ないため、土留・仮締切工を増工する。</p> <p>5. 共通仮設費 土留め・仮締切工の増工に伴い、運搬費を増工する。 現地確認の結果、表土が草混じりの状態であり、再利用が困難であったため、表土処理を追加する。</p> <p>6. 工期 工期については、43日間延長して6月13日までとする。</p>